

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

【基本的な事項】

様式第3号

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・雇用条件で差別しない体制を構築している。実際に外国籍、年齢、性別に関係なく、積極的に採用している。					○			○		○						○		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・ハラスメントを記載する旨を就業規則に記載し、入社日研修で指導している。					○			○									○	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・長時間労働は行っていない。残業時間は多くとも20時間以内。								○										
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・外国籍社員を雇用し、これからも採用予定としている。 ・日本語特有の表現をなるべく減らし					○			○		○								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・社員向けの労働安全衛生講習会を行っている。 ・喫煙の全面禁止								○		○								
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・メンタルヘルスに対応するため、体調不良時の休暇をなるべく取りやすいようにしている。								○										
7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・車椅子でも移動できるように階段をスロープ化した。								○		○								
8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・定期的な健康診断を行っている。								○		○								
9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・スタッフの要望によって、外国語学習、パソコン教育、設計ソフト教育の機械を提供している。 ・日々の日報でスキル熟練度を採点し、さらなるスキルアップ、自己評価による達成感を得られるようにしている。					○			○	○									
10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・パートタイム労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている など									○		○							

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物、再資源できるものを細かく分類し、なるべく廃棄物を出さないようにしている。											○	○		○			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・省エネ策として、高断熱化、							○						○				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・温室効果ガスの排出量を把握し、使用量削減の計画を進めている							○					○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令で規制されている有害化学物質は使用量を測定し、規制値以内であることを管理している。			○			○					○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・敷地内には相模川水系の源流があり、絶滅危惧種の生物がいることを確認しているため、毎年、生息数を把握し、不用意に環境破壊をしないように配慮している。 ・環境に配慮した材料をなるべく選定などを常に念頭に入れている。						○										○	
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・小川の水と水道水を併用し、用途に応じて適切に使用している。						○											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・環境省プラスチックスマートに自社の活動を登録しているなど。			○			○	○					○	○	○	○		
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・ウェブやSNSで環境活動について情報発信している。												○					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・近隣のダムの流水を薪ストーブとして利用している。 また、その熱を温水、発電の計画をしている。							○						○				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・近隣のダムの流水は廃棄処分されるため、それを回収し薪ストーブとして利用している。												○	○	○	○		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・アクリル仕切り板を全国から積極的に回収し、便利な商品、玩具を製造し、国内、海外に販売している。 ・アクリル水槽を回収し、他のアクリル製品に加工し販売している。						○						○	○	○	○	○	
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範の整備と社内浸透 など																	○
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修の実施 など																	○
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・特許、商標等知的財産権の取得・管理 ・製品開発における特許侵害調査 など								○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表するとともに体制を整備している ・社内研修を行い情報管理ルールの周知徹底を図っている ・EU圏に顧客がいるためWEB上にクッキー対策情報を公開している。																	○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・自社製品の原材料サプライチェーンの把握 など																	○
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動					○		○		○		○	○	○	○	○	○	○

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	28 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書の作成 など			○									○							
	29 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築 ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルール策定									○										
	30 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・製品設計時におけるライフサイクルでの環境影響の把握 など						○						○	○	○	○				
	31 【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・特定の社会課題解決をテーマとした製品開発の推進している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	32 【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・地域施設との交流イベントを通じ、地域への影響の把握し商品開発に繋げている。				○						○		○		○	○			○	
	33 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・地域施設との交流イベントを行い、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。				○								○			○	○		○	
	34 【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・地域の原材料の優先的利用をしている。							○	○			○	○	○						
組織体制	35 【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	・社内通知によって、法令遵守の重要性を全社員に向けて発信している。																		○	
	36 【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営者が積極的にSDGsの取り組みに対し率先して行動している。								○	○									○	
	37 【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・内部通報制度(違法行為に対して警察、弁護士連絡)が整備されている																		○	
	38 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・責任者(担当役員)の任命をしている。																		○	
	39 【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を講じている など																			○
	40 【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・CSR方針の策定をしている。																			○
41 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握している。																		○	○	
42 【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・レジリエンス認証の取得に向けた取り組みをしている。										○		○		○				○		

